

4°C

holdings group

## 株主の皆様へ

～すべてはお客様の“笑顔”や“ときめき”のために～

当社グループは、すべてのステークホルダーに対して誠実に対応し、お客様に信頼される企業、社員に夢を与えられる企業、社会に貢献できる企業、株主に期待される企業を目指すことを経営理念としています。

そして、常に挑戦の姿勢で物事に取り組み、新しい市場を創造し、価値を創り続けることにより、持続可能な発展を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご助力をいただければ幸いです。



代表取締役会長・CEO  
木村 祭氏

代表取締役社長・COO  
増田 英紀

## 株式会社4°Cホールディングス 第72期第2四半期株主通信

(2021年3月1日から2021年8月31日まで)

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および感染拡大により影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い回復と感染症の早期収束をお祈りいたします。

## 2022年2月期第2四半期の総括

2022年2月期第2四半期累計期間(2021年3月1日～2021年8月31日)の連結業績は、売上高は177億69百万円(前年同期比1.2%減)とほぼ横ばいとなりました。営業利益は、ブランド価値向上投資を積極的に行ったことに加え、前年同期に一部特別損失に計上していた人件費の反動増もあり、3億96百万円(同62.0%減)と前年同期を下回りました。

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループは、緊急事態宣言が長期にわたり発出されたことから、経営環境は前年同期を上回る厳しさとなりました。

アパレル事業は、アスティグループにおいて、海外生産拠点の安定的な運営と商品企画力の強化に引き続き取り組みました。デイリーファッション「パレット」を展開する(株)アーजूは、既存店が前年同期を上回り好調に推移したことや、当初計画を上回る6店舗の新規出店を実行したことにより、売上高・営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

## 通期業績見通しと下期の重点施策

当社グループを取り巻く今後の経営環境は、社会経済活動の回復とリベンジ消費への期待感により緩やかに改善するものと捉えております。

特に、クリスマス商戦を含む第4四半期に主力であるジュエリー事業を大きく回復させることで、通期業績は増収増益の達成を目指します。

ジュエリー事業では、クリスマス商戦の成功に向け、販促活動の強化に注力するとともに、コレクションの拡充や特別感のある魅力的なキャンペーンを積極的に展開してまいります。アパレル事業では、下期は「パレット」4店舗の新規出店を計画しており、目標である通期10店舗の新規出店の達成を目指します。また、25周年催事にも積極的に取り組み、売上高の拡大を図ります。

## 株主の皆様への利益還元について

当社グループは株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しております。この度、当社グループの方針である安定的・継続的な配当の実現を、より明確にするための指標として「DOE」(自己資本配当率)を新たに採用し、4%以上を目標として設定いたしました。また、将来の1株当たり100円配当の実現を中長期的な目標のひとつに掲げるなか、当期の1株当たり配当金は中間・期末含めて2円増配となる年間83円、11期連続の増配を予定しております。今後も安定的・継続的な配当を基本としつつ、機動的な自己株式の取得等により利益還元の水準向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 第6次中期経営計画の基本方針

(2022年2月期～2024年2月期)

## 方向性

ジュエリー事業 「4°C」ブランドの価値向上に向けた投資の実行  
アパレル事業 「パレット」の成長で売上拡大を牽引

第二の柱の確立による  
強固な事業ポートフォリオ構築

## 事業ビジョン

## 1 ジュエリー事業

- 「4°C」ジュエリーのブランド価値向上
- 「Canal4°C」の出店拡大
- お客様とのエンゲージメント強化によるLTV\*向上
- デジタル戦略の高度化とEC売上高の拡大
- 高収益体質の維持・強化

\*LTV(ライフ・タイム・バリュー):顧客生涯価値。

## 2 アパレル事業

- 「パレット」の出店拡大による関西ドミナントの更なる深耕と商品・店舗運営力強化
- 海外生産拠点の再構築・強化と新たなマーケット創造

## 組織ビジョン

## 1 グループ経営管理機能の強化

## 2 グループ人材育成の推進

## 3 新常態に向けた働き方改革の推進

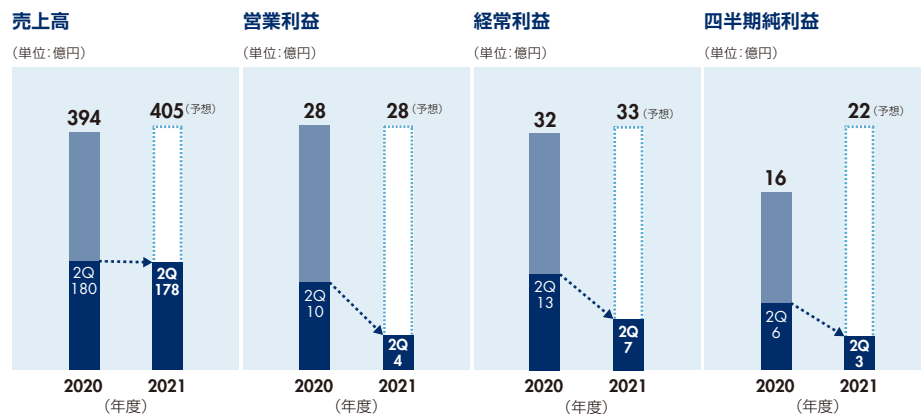
## 2022年2月期第2四半期(2021年3月～8月)連結決算概要

### 2022年2月期第2四半期連結業績

■ 第2四半期累計期間(3月～8月)の売上高は、新型コロナウイルス感染症が急拡大したことによる緊急事態宣言の長期化等の影響を受けたため、横ばいとなりました。

■ 一方で、営業利益はジュエリー事業においてブランド価値向上投資に積極的に取り組んだことに加えて、前年同期に一部特別損失に計上していた人件費の反動増もあり減益となりました。

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
17,769百万円 (前年同期比 △1.2%)	396百万円 (前年同期比 △62.0%)	715百万円 (前年同期比 △44.3%)	280百万円 (前年同期比 △53.5%)



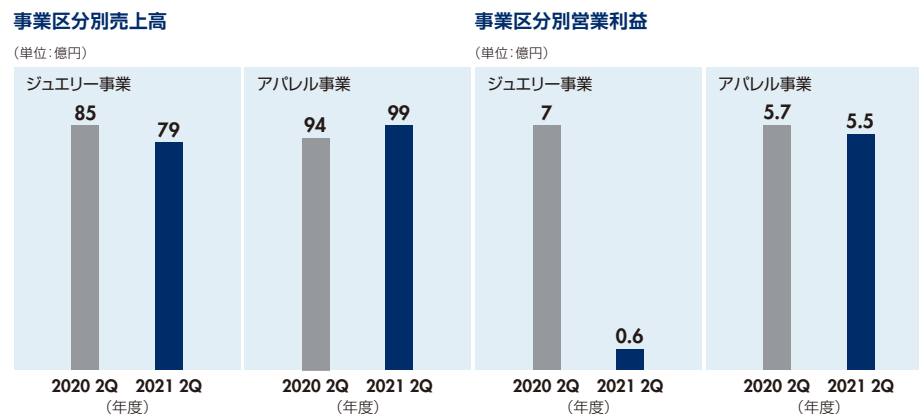
### セグメント情報

■ ジュエリー事業は減収減益となりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、緊急事態宣言が長期化したことにより、消費マインドが低下しました。大型商業施設でのクラスター発生や通常営業日が減少したこともあり、前年同期以上の厳しさとなりました。

■ アパレル事業は増収減益となりました。「パレット」は新店効果や既存店の好調により売上高、営業利益ともに過去最高を更新しました。アパレルメーカー事業は引き続き、海外生産拠点の安定的な運営と商品企画力の強化に取り組みました。

事業区分別業績	売上高 (単位:百万円)			セグメント利益 (単位:百万円)		
	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年同期比 (%)	2021年2月期 第2四半期	2022年2月期 第2四半期	前年同期比 (%)
ジュエリー事業	8,534	7,894	△7.5	686	60	△91.2
アパレル事業	9,445	9,875	+4.5	567	547	△3.6

注1:記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。注2:外部顧客に対する売上高を表示しています。

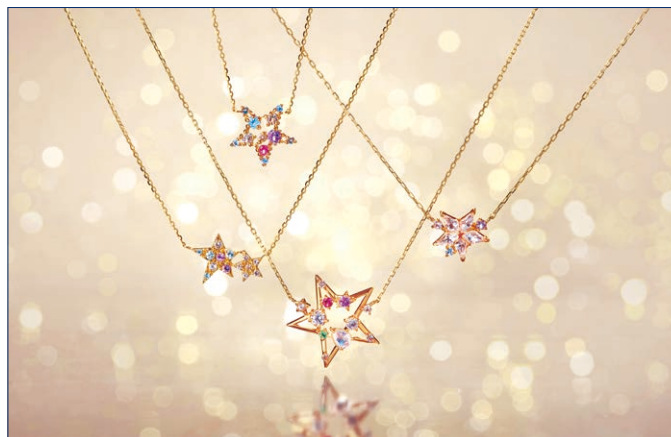


## トピックス

### 「4℃」クリスマスプロモーション

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

「4℃」では、今年のクリスマスは“Wish the Stella ~輝く星に願いを込めて”をテーマに、クリスマスの空に輝く星をイメージしたコレクションと限定商品をご用意いたしました。北斗七星やきらめく流れ星をダイヤモンド等のストーンで表現したジュエリーは、この季節の装いにもぴったりです。昨年好評だった限定ショッパーやオリジナルスノードーム等、店頭でもきらめくクリスマスを演出しています。また、ホームページ、SNS、LIVE TV等でのプロモーションも積極的に行い、デジタル上でも「4℃」のクリスマスを存分に感じていただけるよう取り組んでまいります。



「4℃」クリスマスプロモーション広告

### サステナブルジュエリーブランド「cofl by 4℃」(コフル バイ ヨンドシー) デビュー

#### 株式会社エフ・ディ・シー・プロダクツ

2021年11月12日(金)に初のサステナブルジュエリーブランド「cofl by 4℃」(コフル バイ ヨンドシー)がデビューいたしました。ブランドコンセプトは、「自然を壊さず、資源を使わずにサステナブルな選択で今ある環境を守ること。そして、ジュエリーを身につける喜びを未来へつなぐこと。」です。ラボグロウンダイヤモンドやリファインメタルをはじめとした新技術を取り入れ、素材調達からジュエリーの製造まで可能な限り国内で完結させることにも取り組んでおります。また、ケースなどブランドに関わるすべてのものを再生素材にすることで、品質にもこだわりジュエリーを手にしたときの喜びも環境とともに大切にしています。ぜひ一度、オフィシャルサイトをご覧ください。

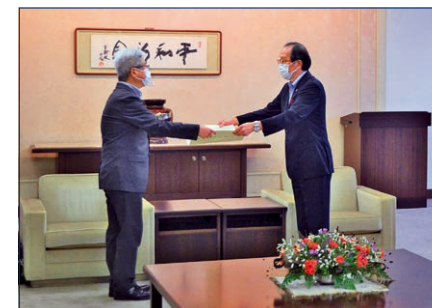


サステナブルジュエリーブランド「cofl by 4℃」(コフル バイ ヨンドシー)

### バスタオル寄贈

#### 株式会社アスティ

(株)アスティでは、毎年「敬老の日」に合わせて老人福祉施設へバスタオルの寄贈を行っています。51回目となる今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、老人福祉施設を訪問することはできませんでした。9月7日(火)に広島市長に目録を贈呈し、広島市内97カ所の老人福祉施設へ6,273枚のバスタオルを郵送でお届けいたしました。これまでに寄贈してきたバスタオルの累計は16万枚を超えました。今後も地域社会への貢献に取り組んでまいります。



老人福祉施設へのバスタオルの寄贈

### 「パレット」アルパーク店オープン

#### 株式会社アージュ

デイリーファッション「パレット」は、出店拡大を推し進めています。この度、2021年度で7店舗目となる「パレット」アルパーク店が2021年9月22日(水)にオープンいたしました。アルパークは、JR山陽本線新井口駅とデッキで繋がっている複合商業施設で、2023年春に全面リニューアルを予定しており、テナント200店舗、年間売上高300億円、年間来場者数1,200万人を目標に生まれ変わります。これからも、地域のお客様の日常を応援するお店として、「私の暮らしにちょうどいいあれもこれもパレット」をコンセプトに、お客様のニーズに応えてまいります。



「パレット」アルパーク店



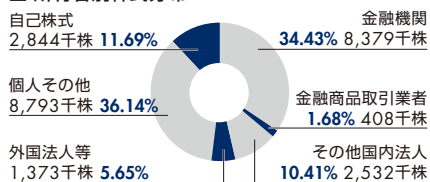
## 株主情報

### 株式情報 (2021年8月31日現在)

発行済株式総数	24,331,356株
1単元株式数	100株
株主数	14,296名

### 株式分布状況 (2021年8月31日現在)

#### ■ 所有者別株式分布

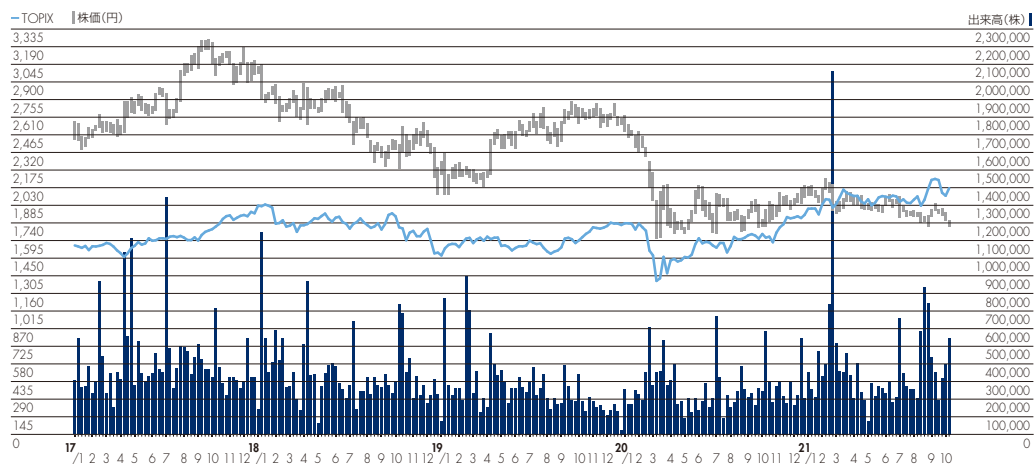


### 大株主 (2021年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
第一生命保険株式会社	1,254	5.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,238	5.09
株式会社広島銀行	1,069	4.39
株式会社三井住友銀行	781	3.21
4℃ホールディングスグループ共栄会	743	3.05
株式会社伊予銀行	739	3.03
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	620	2.54
尾山嗣雄	405	1.66
株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行 再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	352	1.44
住川志満子	340	1.39

注：当社は自己株式2,844,056株を保有しておりますが、大株主からは除外しております。

## 株価推移



## 会社概要 (2021年8月31日現在)

社名	株式会社4℃ホールディングス YONDOSHI HOLDINGS INC. (英文)
所在地	〒141-0021 東京都品川区上大崎二丁目19-10
設立年月日	1950年5月18日
資本金	24億8,652万円
事業内容	ジュエリーを中心とするブランド事業、アパレル・バッグを中心とした企画・製造・卸売事業 および小売事業

連結子会社 9社

## 株主メモ

決算期日	毎年2月末
定時株主総会	毎年5月
配当金支払株主確定日	毎年2月末、毎年8月末(中間配当)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
公告	(公告方法)当社の公告方法は電子公告としております。但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (公告を掲載するホームページアドレス) <a href="https://yondoshi.co.jp/">https://yondoshi.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8008

## 株式事務のお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1

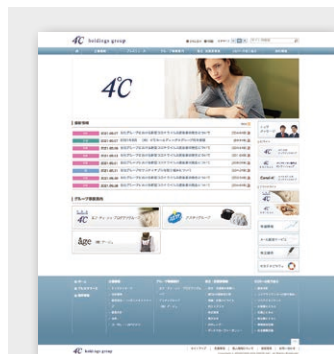
お問い合わせ先

**0120-232-711** オペレーター対応 / 受付時間 午前9時～午後5時まで(平日のみ)

(ご注意)

- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましては、各口座管理機関にお問い合わせください。

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と異なることがありますことをご承知おきください。



当社のIRサイトでは、企業活動全般にわたる最新の情報をご提供しております。特に株主通信は、株主の皆様によりタイムリーに情報をご提供するため、四半期毎に作成しています。第1四半期および第3四半期株主通信は、ホームページのみでご覧いただけます。また、メールアドレスをご登録いただいた方に随時情報配信を行っております。是非ご覧ください。

URL <https://yondoshi.co.jp/>

IRお問い合わせ先 TEL: 03-5719-3295 / FAX: 03-5719-4462

財務部 E-mail: [ir-yondoshi@yondoshi.co.jp](mailto:ir-yondoshi@yondoshi.co.jp)

コーポレートガバナンス・ガイドラインについて

コーポレートガバナンスに対する基本的な考え方や取り組みを体系化したものを「コーポレートガバナンス・ガイドライン」としてまとめ、コーポレートサイトへ掲載しております。当社グループは、健全で透明性の高い企業グループとして社会の信頼と責任に応えてまいります。

URL <https://yondoshi.co.jp/company/governance/>